

# けんしん半期ディスクロージャー誌 (平成31年4月～令和元年9月)



「けんしん半期ディスクロージャー誌(平成31年4月～令和元年9月)」は当組合が上半期の事業実績を開示するものです。福島県商工信用組合は「相互扶助」の理念のもとに、地域の生活者・中小企業・小規模事業者を応援し、地域の皆さまのご預金を地域のために還元する金融仲介機能を果たしてまいりました。今後も組合員の皆様・地域の皆様と共に、より良い地域社会の創造を目指してまいります。

令和元年11月30日  
福島県商工信用組合

# 台風19号の被害について

令和元年10月12日から13日にかけて、福島県を通過した台風19号及び10月25日の豪雨により、被災された皆様にこころからお見舞いを申し上げます。

けんしんでは、「本宮支店」「石川支店」2つの店舗が台風19号により被害を受けました。

本宮支店においては、屋根まで冠水し、丸1日水が引かない状況でした。営業室内・金庫室内が水没し、全ての電気設備が使用不可能になりました。翌営業日である10月15日は年金振込日でもあり、多くのお客様ご来店頂く日ですので、職員一丸となって店舗内の清掃をいち早く行い、簡易的な窓口を設置しました。

その後、10月23日に直線距離約9キロに位置し、倉庫として利用していた旧日和田支店を仮店舗として設置し営業を開始いたしました。

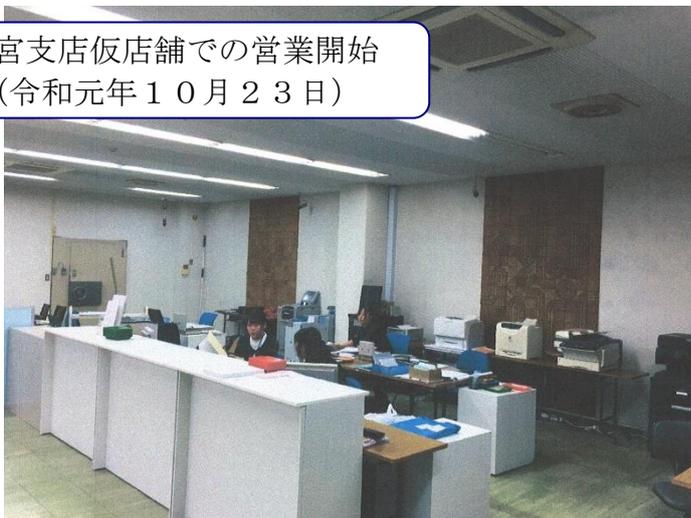
石川支店においては、床上まで浸水し一部電気設備が使用不可能となりましたが、10月15日には窓口営業を再開でき、現在はATMも稼働し、通常営業を行っております。

(令和元年11月30日現在)



本宮支店台風19号被害の状況  
(令和元年10月14日)

本宮支店仮店舗での営業開始  
(令和元年10月23日)



本宮支店仮店舗 (旧日和田支店)  
郡山市日和田町字日和田245番地3  
Tel : 024-973-5109  
Fax : 024-958-5056

# 台風19号被害への対応

この度の台風19号に被災されたお客様に対して、けんしんでは下記の対応をいたします。

## ○台風19号に伴う災害に対する金融上の措置

台風19号に伴う被害により災害救助法が適用された地域の被災者の皆さまが対象。

- ①預金証書、通帳を紛失した場合でも、運転免許証・保険証等により預金者であることを確認できる場合には、払戻し対応いたします。
- ②届出の印鑑のない場合には、拇印にて対応いたします。
- ③事情により定期預金、定期積金の期限前払戻しに応じます。また当該預金等を担保にご融資もいたします。
- ④被災に起因して支払期日が経過した手形については、関係金融機関と協議のうえ取立ができるよう調整いたします。
- ⑤被災に起因した手形・小切手の不渡処分等、電子記録債権の取引停止処分又は利用契約の解除等についてはご相談ください。可能な限り対応いたします。
- ⑥損傷した紙幣や貨幣については、お取替えいたします。
- ⑦災害による応急資金が必要な場合はご相談ください。手続きの簡便化、迅速化に努めるほか、ご融資資金の返済猶予等についても検討させていただきます。
- ⑧「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」の手続き、利用による効果等を説明させていただきますのでご相談ください。
- ⑨罹災証明書が必要な手続きにおいても、市町村における交付状況等を勘案し、現況の写真の提供など他の手段による被災状況の確認を考慮しますのでご相談ください。

(令和元年11月30日現在)

## ○「台風19号災害対策特別融資」の取扱を開始。(令和元年10月16日より)

今回の台風に際して被災された事業者及び個人に対して、運転資金、設備資金、生活再建資金等の需要に応じ、緊急の支援をすることを目的とします。

- ①「十店会特別融資制度(災害対応)」(十店会会員向け)  
20,000千円まで 融資利率：原則年1.00%から
- ②「災害対応特別融資」(事業者向け)  
20,000千円まで 融資利率：原則年1.20%から
- ③「災害対応ローン」(給与所得者向け)  
5,000千円まで 融資利率：原則年1.50%から

(取扱：令和2年3月29日まで)

## ○福島県制度資金「豪雨災害特別資金」の取扱を開始。(令和元年11月1日より)

- ①対象者：台風19号被害により事業活動に影響を受け、市町村の「罹災証明書」を受けた中小事業者。または、売上が例年の20%以上減となっている事業者。
- ②運転資金・設備資金 80,000千円を限度(併用時も同一)
- ③融資期間：10年以内(内、据置1年以内)
- ④融資利率：年1.50%以内
- ⑤保証料率：年0.50%(保証協会付保条件)
- ⑥担保・保証人：必要に応じ徴求

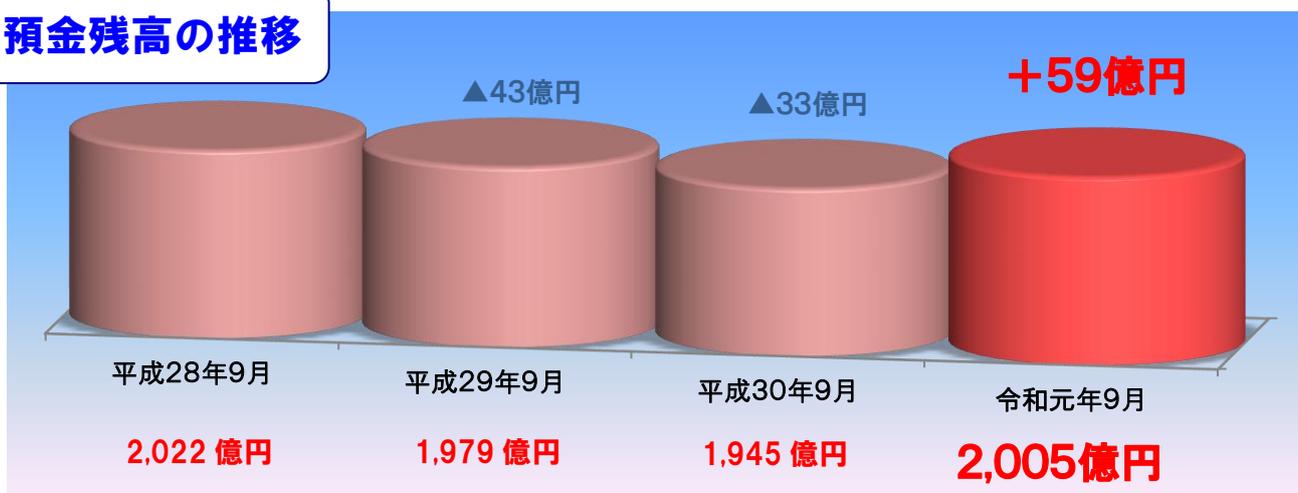
# 令和元年度上半期の業績

預金残高は**2,005億円** (法人預金の増加等により、前年同月比**59億円**増加)

預金は、定期預金や定期積金、年金を中心とした地域密着の営業活動を行いました。個人預金の伸び悩みがありました。法人預金及び公金預金が大きく増加しました。

令和元年9月末の預金残高は200,535百万円、前年同月比5,936百万円の増加、増加率3.0%となりました。

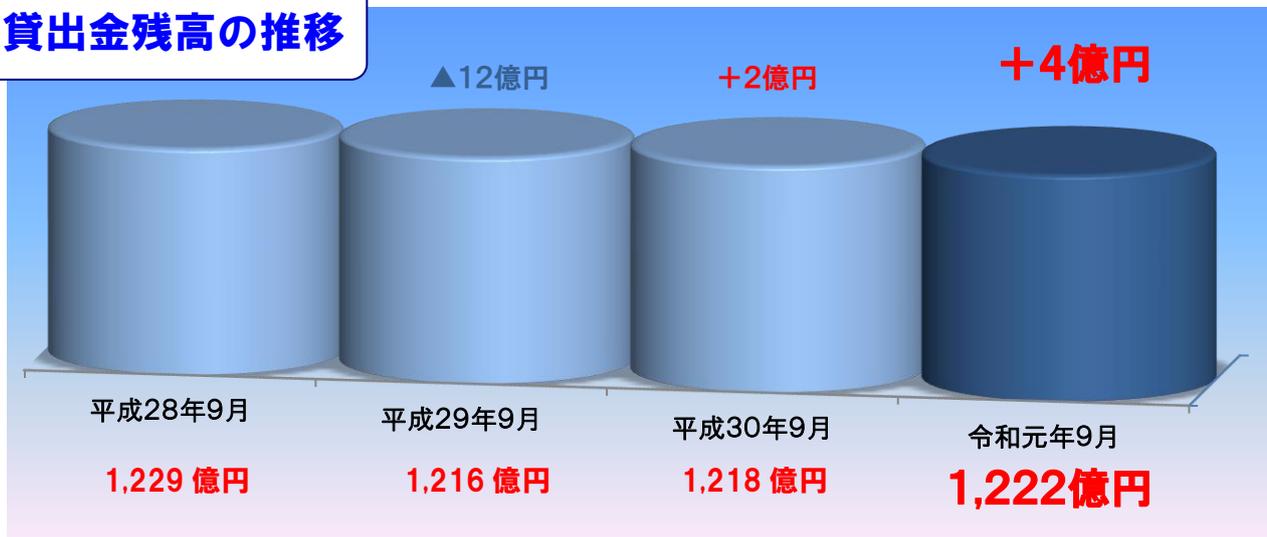
## 預金残高の推移



貸出金残高は**1,222億円** (事業性融資を中心に、前年同月比**4億円**増加)

貸出金は、地域の事業者の皆様に対し、国や県の制度資金や信用保証協会との連携による融資を中心に、積極的に対応してまいりました。事業者のお客様への貸出を積極的に推進し、令和元年9月末の貸出金残高は122,294百万円、前年同月比415百万円の増加、増加率0.3%となりました。

## 貸出金残高の推移

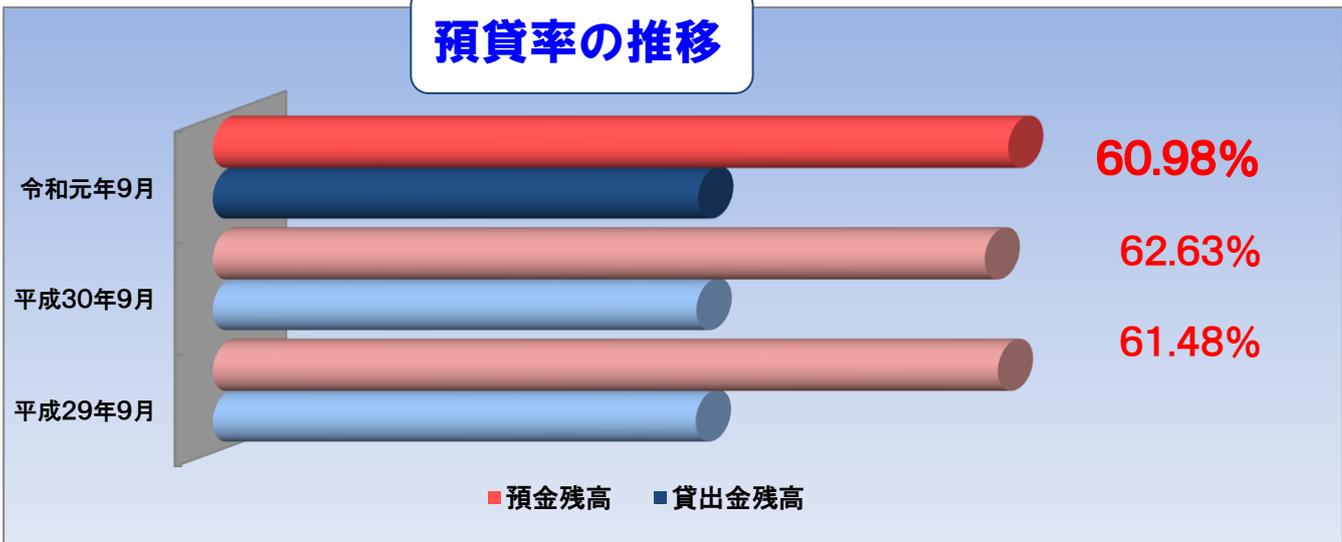


# 令和元年度上半期の業績

預貸率は**60.98%**(前年同月対比1.65ポイント低下)

けんしんは、皆様からお預かりした預金を貸出金として地域に還流させることが最大の地域貢献であると考えています。令和元年9月の預金に対する貸出金の割合「預貸率」は、前年同月対比1.65ポイント低下し60.98%となりました。

## 預貸率の推移



経常利益は**120百万円**、当期純利益は**118百万円**

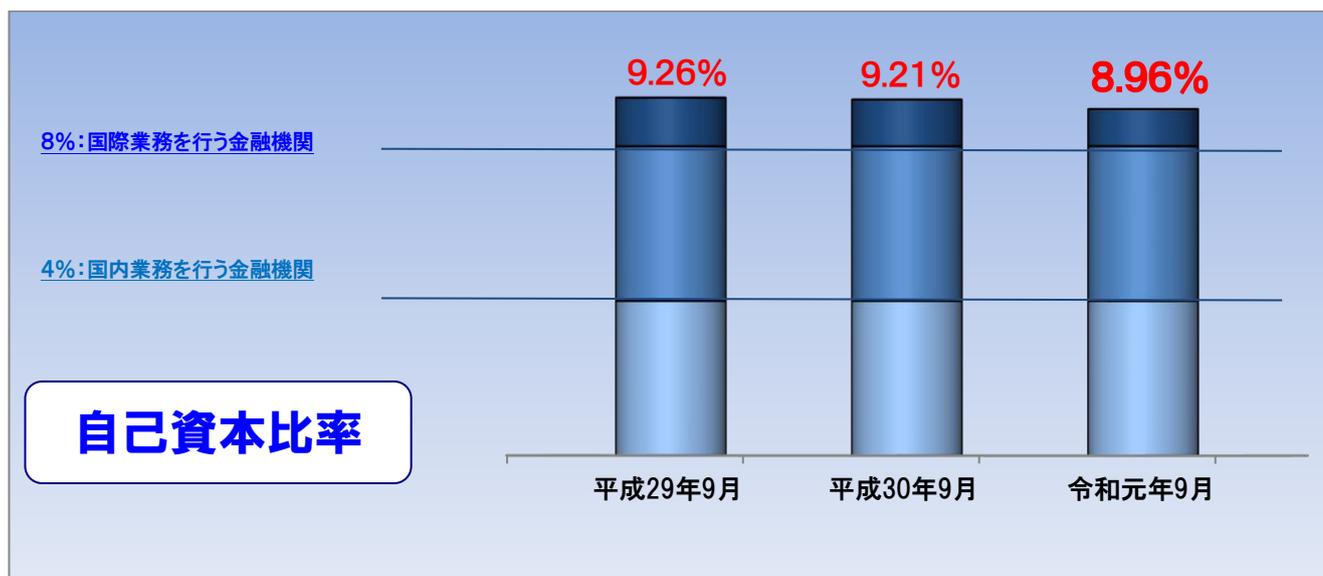
経常収益は貸出金利息の減少や有価証券の売却益の減少などの影響で減少しましたが、経費など費用の削減により、経常利益は前年同月比49百万円増加し120百万円となりました。当期純利益については、前年同月比54百万円増加し118百万円となりました。

	平成30年9月	令和元年9月
経常収益	1,460百万円	1,427百万円
業務純益 (金融機関本業での利益)	165百万円	175百万円
コア業務純益 (業務純益から一時的な変動要因 (国債等債券関係損益等)の影響を除いた利益)	153百万円	179百万円
経常利益	71百万円	120百万円
当期純利益	64百万円	118百万円

# 令和元年度上半期の業績

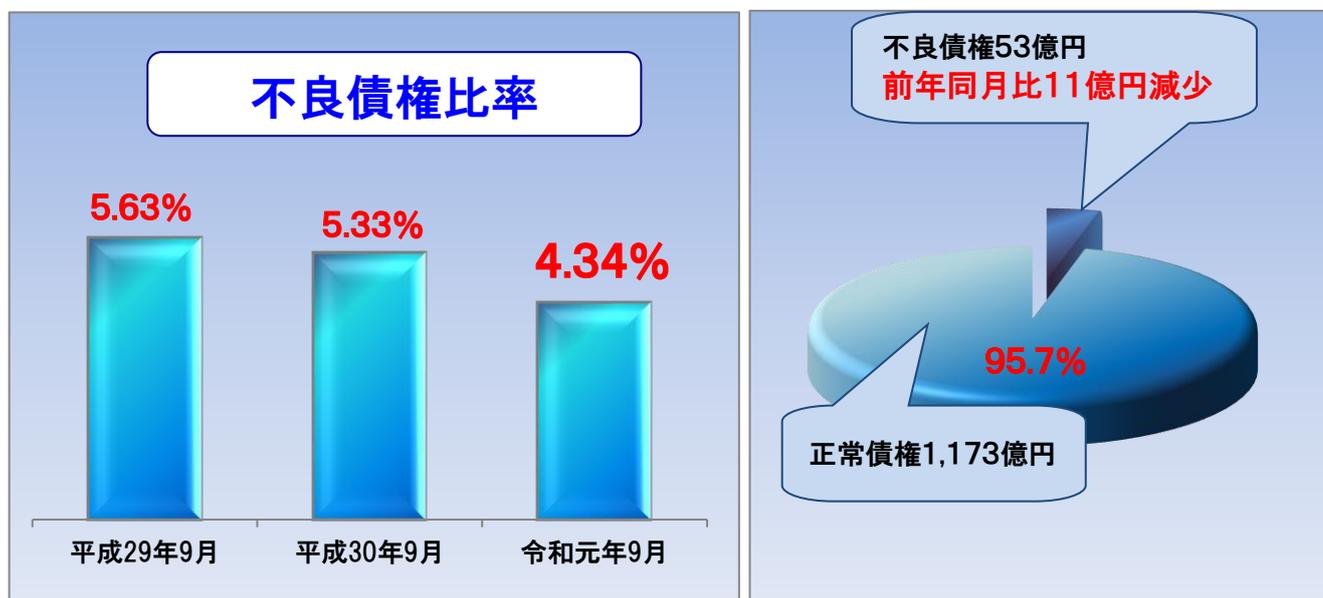
自己資本比率は**8.96%** (前年同月対比**0.25ポイント低下**)

金融機関の健全性を表す自己資本比率は、貸出金や預け金などの資産が増加したことにより、前年度と比べ0.25ポイント低下し、8.96%となりました。けんしんの自己資本比率は国内基準(4%)を上回っています。



不良債権比率は**4.34%** (前年度対比**0.99ポイント改善**)

金融再生法開示債権における不良債権比率(総与信残高に占める不良債権の割合)は、金融円滑化への取組み・貸出債権の正常化の取組みにより、不良債権額が1,194百万円減少し、不良債権比率は0.99ポイント改善し4.34%となりました。



# けんしんの事業活動

## 主な事業活動(平成31年4月～令和元年9月)

4月16日	けんしんヤング十店会総会◆ (講演:ここがポイント!労使トラブル解消)	8月24日	第36回福島県信用組合体育大会
4月20日	本店営業部みどりのまちづくり (植樹紅梅50本・ハナミズキ50本)	8月31日	須賀川支店 イベント★ 「商店街フェア」
6月18日	第65期通常総代会 総代親睦会総会	9月7日	朝日支店 イベント★ 「商店街フェア」
6月22日	南福島支店 イベント★ 「smile商店街フェア」	9月8日	本宮支店 イベント★ 「第6回みずいろ商店街」
6月25日	けんしんヤング十店会◆ ビジネス交流会	9月10日	十店会会長会議◆ 東京・帝国ホテル
7月8日	けんしんヤング十店会セミナー◆ (講演:「激動する世界と日本の進路」寺島実郎氏)	9月14日	白河支店 イベント★ 「商店街フェア」
7月27日	二本松支店 イベント★ 「子どもまつり商店街フェア」	9月20日	けんしんヤング十店会セミナー◆ (講演:「民法大改正のポイント」官澤里美氏)
7月27日	コスモス通り支店 イベント★ 「商店街フェア」	9月23日	けんしんヤング十店会視察旅行◆ 北海道・札幌方面
8月3日	常葉支店 イベント 「商店街フェア」	9月28日	松川支店 イベント★ 「まつかわ商店街フェア」

### ★けんしんイベント★

けんしんでは地域活性化の取組みとして、支店毎に地元商店の皆さまなどに呼びかけ、模擬店舗を開きふれあいの場・情報交換の場を提供する、ふれあい「イベント」を毎年行っています。今年度上半期においては10店舗で開催し、出店業者数344先、来店客数は合計で8,305名の地元の方々にご来場頂きました。



### ◆十店会活動◆

けんしんでは経営相談やビジネスマッチングの場として活用頂くため、支店毎にお客様の組織である「十店会」を設けております。今年度上半期は全店舗において総会を開催し、9月10日には全店の十店会会長が一堂に会した会長会議を東京で行いました。また、若手経営者向けの「ヤング十店会」も積極的に活動を行いました。



# 主要経営情報

## 資産・負債及び純資産の状況(貸借対照表)

(単位:百万円)

科 目	平成30年9月	令和元年9月	科 目	平成30年9月	令和元年9月
(資産の部)			(負債の部)		
現金	1,626	1,507	預金・積金	194,598	200,535
預け金	68,751	75,667	当座預金	280	235
有価証券	8,937	7,142	普通預金	56,287	55,724
国債	—	—	貯蓄預金	6	3
地方債	5,641	3,785	通知預金	0	2
社債	3,243	3,305	別段預金	300	679
株式	49	49	納税準備預金	6	4
その他の証券	2	1	定期預金	123,624	129,751
貸出金	121,878	122,294	定期積金	14,090	14,133
割引手形	623	546	借入金	—	—
手形貸付	6,858	8,502	その他負債	377	338
証書貸付	110,909	109,000	未決済為替借	70	34
当座貸越	3,486	4,244	未払費用	65	53
その他資産	792	823	給付補填備金	19	20
未決済為替貸	11	8	未払法人税等	—	0
全信組連出資金	200	300	前受収益	74	82
前払費用	12	10	払戻未済金	—	—
未収収益	147	151	職員預り金	3	3
その他の資産	421	353	リース債務	60	92
有形固定資産	3,438	3,416	資産除去債務	7	8
建物	1,333	1,293	その他の負債	75	44
土地	1,942	1,942	賞与引当金	14	17
リース資産	60	92	退職給付引当金	77	69
建設仮勘定	1	—	役員退職慰労引当金	169	175
その他の有形固定資産	99	87	睡眠預金払戻損失引当金	12	22
無形固定資産	16	14	偶発損失引当金	1	1
ソフトウェア	2	1	債務保証	296	245
その他の無形固定資産	13	12	<b>負債の部合計</b>	<b>195,547</b>	<b>201,405</b>
繰延税金資産	381	352	(純資産の部)		
債務保証見返	296	245	出資金	5,806	5,826
貸倒引当金	△2,660	△1,918	普通出資金	5,806	5,826
(うち個別貸倒引当金)	(△2,568)	(△1,810)	利益剰余金	2,126	2,253
			利益準備金	1,456	1,475
			その他利益剰余金	670	777
			特別積立金	555	605
			当期末処分剰余金	115	172
			組合員勘定計	7,933	8,079
			その他有価証券評価差額金	△20	60
			評価・換算差額等合計	△20	60
			<b>純資産の部合計</b>	<b>7,912</b>	<b>8,140</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>203,459</b>	<b>209,545</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>203,459</b>	<b>209,545</b>

# 主要経営情報

## 利益及び損失の状況(損益計算書)

(単位:千円)

科目	平成30年9月	令和元年9月
経常収益	1,460,167	1,427,804
資金運用収益	1,263,205	1,250,287
貸出金利息	1,205,207	1,187,710
預け金利息	39,119	43,876
有価証券利息配当金	10,877	9,100
その他の受入利息	8,001	9,600
役務取引等収益	120,914	115,537
受入為替手数料	31,485	31,606
その他の役務収益	89,429	83,931
その他業務収益	74,374	58,061
国債等債券売却益	15,170	—
その他の業務収益	59,204	58,061
その他経常収益	1,673	3,918
償却債権取立益	682	2,157
その他の経常収益	991	1,761
経常費用	1,388,404	1,306,968
資金調達費用	62,420	54,181
預金利息	58,145	50,268
給付補填備金繰入額	4,255	3,895
その他の支払利息	19	18
役務取引等費用	230,722	204,972
支払為替手数料	17,937	19,903
その他の役務費用	212,785	185,068
その他業務費用	2,413	3,025
経費	999,087	986,710
人件費	616,062	590,722
物件費	365,998	380,206
税	17,026	15,780
その他経常費用	93,760	58,079
貸倒引当金繰入額	92,147	56,449
その他の経常費用	1,613	1,629
経常利益	71,763	120,835
特別利益	—	20
固定資産処分益	—	20
特別損失	5,334	0
固定資産処分損	5,334	0
税引前当期純利益	66,428	120,856
法人税、住民税及び事業税	1,921	2,243
当期純利益	64,507	118,612
繰越金(当期首残高)	51,276	54,363
当期末処分剰余金	115,784	172,976

科目	平成30年9月	令和元年9月
業務純益	165,907	175,298
コア業務純益	153,287	179,481
業務粗利益	1,162,938	1,161,706

# 主要経営情報

## 預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

		平成30年9月	令和元年9月
預金	期末残高	194,598	200,535
	期中平均残高	194,096	198,955
貸出金	期末残高	121,878	122,294
	期中平均残高	122,195	121,871

## 預金・貸出金の人格別残高

(単位:百万円)

		平成30年9月	令和元年9月
預金	個人	129,582	128,930
	法人	35,662	38,218
	公金	29,353	33,385
貸出金	個人	44,537	44,126
	事業者	60,472	61,012
	地方公共団体	16,869	17,154

## 業種別貸出金残高

(単位:百万円、%)

	平成30年9月		令和元年9月	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	4,483	3.7	4,890	3.9
農業、林業	810	0.7	829	0.6
漁業	46	0.0	39	0.0
鉱業、碎石業、砂利採取業	4	0.0	—	—
建設業	11,317	9.3	11,648	9.5
電気・ガス・熱供給・水道業	135	0.1	94	0.0
情報通信業	501	0.4	510	0.4
運輸業、郵便業	3,593	2.9	4,165	3.4
卸売業、小売業	6,321	5.2	6,346	5.1
金融業、保険業	186	0.2	261	0.2
不動産業(アパート等賃貸業含)	15,208	12.5	15,457	12.6
物品賃貸業	145	0.1	327	0.2
学術研究、専門・技術サービス業	740	0.6	770	0.6
宿泊業	1,936	1.6	1,879	1.5
飲食業	1,700	1.4	1,317	1.0
生活関連サービス業、娯楽業	1,819	1.5	1,680	1.3
教育、学習支援業	483	0.4	618	0.5
医療、福祉	2,303	1.9	2,344	1.9
その他のサービス	6,266	5.1	6,792	5.5
その他の産業	2,466	2.0	1,037	0.8
<b>小計</b>	<b>60,471</b>	<b>49.6</b>	<b>61,012</b>	<b>49.8</b>
地方公共団体	16,869	13.8	17,154	14.0
個人	44,536	36.5	44,126	36.0
<b>合計</b>	<b>121,878</b>	<b>100.00</b>	<b>122,294</b>	<b>100.00</b>

# 主要経営情報

## 金融再生法開示債権の状況

(単位:百万円)

	平成30年9月	令和元年9月
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	3,902	2,993
危険債権	2,405	2,310
要管理債権	215	25
不良債権計	6,523	5,329
正常債権	115,813	117,319
合計	122,336	122,648
不良債権比率	5.33%	4.34%

1. 「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 令和元年9月末の「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」の金額は、平成31年3月末時点における債務者区分を前提とし、9月末までの間に倒産、不渡り等の客観的な事実があった債権について、当組合で定める「自己査定基準」に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更と認められる額を反映させます。

## 有価証券の状況

(単位:百万円)

		平成30年9月	令和元年9月
有価証券	取得価額または契約価額	8,965	7,058
	時価	8,937	7,142
	評価損益	△28	83
うち地方債	取得価額または契約価額	5,647	3,751
	時価	5,641	3,785
	評価損益	△5	33
うち公社公団債	取得価額または契約価額	1,425	1,422
	時価	1,414	1,461
	評価損益	△10	38
うち事業債	取得価額または契約価額	1,840	1,833
	時価	1,828	1,844
	評価損益	△12	11

※「金銭の信託」「デリバティブ商品」の取扱いはありません。

## 出資金の状況

	平成30年9月	令和元年9月
出資金残高	5,806百万円	5,826百万円
うち優先出資金	—	—
組合員数	48,191人	47,475人
員外預金比率	3.33%	3.98%

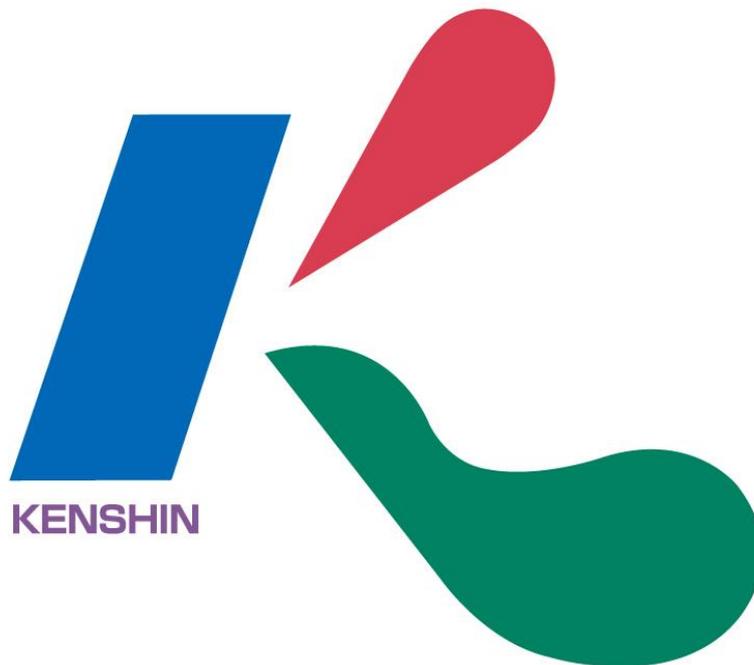
# 主要経営情報

## 自己資本比率の状況

(単位:百万円)

項目	平成30年9月		令和元年9月	
		経過措置による不算入額		経過措置による不算入額
<b>● コア資本に係る基礎項目</b>				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定の額	7,933		8,079	
うち、出資金及び資本剰余金の額	5,806		5,826	
うち、利益剰余金の額	2,126		2,253	
うち、外部流出予定額(△)	—		—	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	92		109	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	92		109	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	8,025		8,188	
<b>● コア資本に係る調整項目</b>				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く)の額の合計額	9	2	10	
うち、のれんに関するものの額	—	—	—	
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	9	2	10	
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	9		10	
<b>● 自己資本</b>				
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	8,016		8,178	
<b>● リスク・アセット等</b>				
信用リスク・アセットの額の合計	81,836		86,178	
資産(オン・バランス項目)	81,656		86,044	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△147		—	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)	2		—	
うち、繰延税金資産	—		—	
うち、前払年金費用	—		—	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△150		—	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
オフ・バランス等取引項目	179		133	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	5,142		5,022	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	86,978		91,200	
<b>● 自己資本比率</b>				
自己資本比率((ハ)/(ニ))	9.21%		8.96%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第22号)に係る算式に基づき算出しております。なお、当組合は国内基準を採用しております。



## 福島県商工信用組合

<http://www.fukushimakenshin.co.jp>

○本店営業部  
〒963-8877 郡山市堂前町7番7号  
☎024-991-1840

○朝日支店  
〒963-8024 郡山市朝日3丁目6番6号  
☎024-938-7200

○桜通支店  
〒963-8015 郡山市細沼町10番11号  
☎024-932-1702

○安積支店  
〒963-0107 郡山市安積2丁目160番地  
☎024-945-0691

○富久山支店  
〒963-8071 郡山市富久山町久保田字久保田165番地5  
☎024-923-4963

○日和田支店  
〒963-8071 郡山市富久山町久保田字久保田165番地5  
☎024-958-5055 (富久山支店内)

○コスモス通り支店  
〒963-0204 郡山市土瓜1丁目63番地  
☎024-963-1677

○本部  
〒963-8877 郡山市堂前町7番7号  
☎024-991-1000

○南福島支店  
〒960-8151 福島市太平寺字町の内3番1  
☎024-544-2318

○松川支店  
〒960-1241 福島市松川町字鼓ヶ岡34番地の1  
☎024-567-2349

○二本松支店  
〒964-0906 二本松市若宮1丁目350番地  
☎0243-22-3511

○本宮支店(仮店舗)  
〒963-0534 郡山市日和田町字日和田245番地3  
☎024-973-5109 (旧日和田支店)

○常葉支店  
〒963-4602 田村市常葉町常葉字中町60番地1  
☎0247-77-2240

○須賀川支店  
〒962-0842 須賀川市宮先町94番地  
☎0248-75-4115

○鏡石支店  
〒969-0401 岩瀬郡鏡石町不時沼226番地  
☎0248-62-3335

○石川支店  
〒963-7844 石川郡石川町字北町16番地1  
☎0247-26-2325

○白河支店  
〒961-0951 白河市字中町19番地3  
☎0248-22-1235